

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第29週 (7/13-7/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	29週	28週	27週	26週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	7/13-7/19	7/6-7/12	6/29-7/5	6/22-6/28	7/6-7/12
			29週	28週	27週	26週	28週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	2
	咽頭結膜熱		0	0	0	1	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	4	10	15	181
	感染性胃腸炎		44	36	30	26	239
	水痘		4	4	2	3	9
	手足口病		0	0	6	0	18
	伝染性紅斑		0	0	1	0	2
	突発性発しん		17	20	15	24	80
	ヘルパンギーナ		0	1	0	0	6
	流行性耳下腺炎		0	0	1	2	8
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	1	0	1	5
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	2
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(37件)

※新型コロナウイルス感染症30件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	IGRA検査	結核	女性	70歳代	IGRA検査
結核	男性	50歳代	IGRA検査	レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	50歳代	病原体の分離・同定等	急性脳炎	男性	10歳未満	臨床症状(高熱、意識障害)
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~70歳代	病原体遺伝子の検出

*第29週は、結核5件(80)、レジオネラ症1件(8)、急性脳炎1件(6)、新型コロナウイルス感染症30件(180)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第29週のコメント

過去10年の同時期と比べると、ほぼ平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第29週は引き続き発生届出件数が増加し、緊急事態宣言解除(5月25日:第22週)前の第17週から12週ぶりに30件に達しました。合計は180件となっています(図1-1)。

緊急事態宣言解除の前後で年齢構成を比較すると、解除前(届出件数109)では30歳代以下が32.1%と3割程度であったことに対し、解除後(届出件数71)では増加し64.8%と6割以上を占め、対して40歳代以上では減少しています。また、解除前は男性61件(56.0%)、女性48件(44.0%)で男性が多かったことに対し、解除後は男性35件(49.3%)、女性36件(50.7%)とほぼ同数となっています。年齢中央値は、解除前では全体が47.0歳、男性が51.0歳、女性が42.5歳でしたが、解除後は全体が29.0歳、男性が29.0歳、女性が30.0歳と若い年代に下がってきています。(図1-2、表1-1-1及び表1-1-2)。

なお、全期間では男性96件(53.3%)、女性84件(46.7%)で、男性がやや多くなっています(図1-3及び表1-2)。

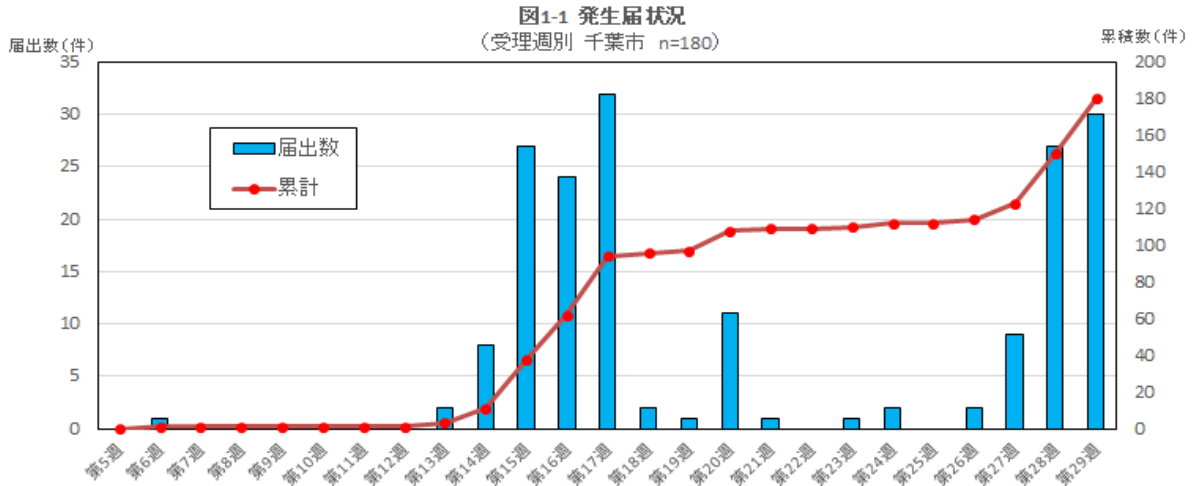
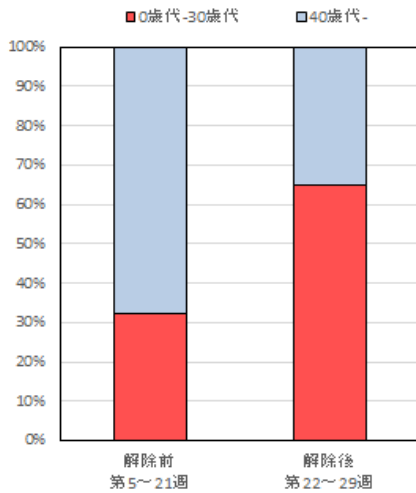


図1-2 年齢構成の推移



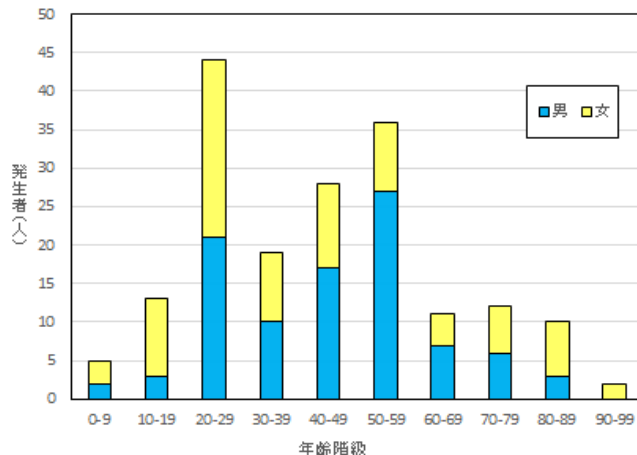
中央値	51.0	42.5	47.0	
年齢層	男	女	計	
0-39	12	23	35	32.1%
40-	49	25	74	67.9%
計	61	48	109	100.0%
	56.0%	44.0%	100.0%	

表1-1-1 性別及び年齢階級別
(緊急事態宣言解除前:第5週～第21週)

中央値	29.0	30.0	29.0	
年齢層	男	女	計	
0-39	24	22	46	64.8%
40-	11	14	25	35.2%
計	35	36	71	100.0%
	49.3%	50.7%	100.0%	

表1-1-2 性別及び年齢階級別
(緊急事態宣言解除後:第22週～第29週)

図1-3 発生届状況
(性別及び年齢階級別 千葉市 n=180)



中央値	46.5	37.0	43.0	
年齢層	男	女	計	
0-9	2	3	5	2.8%
10-19	3	10	13	7.2%
20-29	21	23	44	24.4%
30-39	10	9	19	10.6%
40-49	17	11	28	15.6%
50-59	27	9	36	20.0%
60-69	7	4	11	6.1%
70-79	6	6	12	6.7%
80-89	3	7	10	5.6%
90-99	0	2	2	1.1%
100-	0	0	0	0.0%
計	96	84	180	100.0%
	53.3%	46.7%	100.0%	

表1-2 性別及び年齢階級別
(全期間:第5週～第29週)

・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第29週(2020年7月19日時点)までに5553例(検体数5746)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は5295例(うち陰性化確認等250例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等67例の検査を実施しました。

陰性化確認等250例を除いた市中感染・輸入例疑い事例5045例(検体数5187)については、陽性は181例(陽性率:3.6%)でした(図2-1)。陽性率について、年齢階級別では50歳代(5.4%)、20歳代(5.2%)10歳代(4.9%)の順で多くなっています(図2-2及び表2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市:7月19日現在 n=5045)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

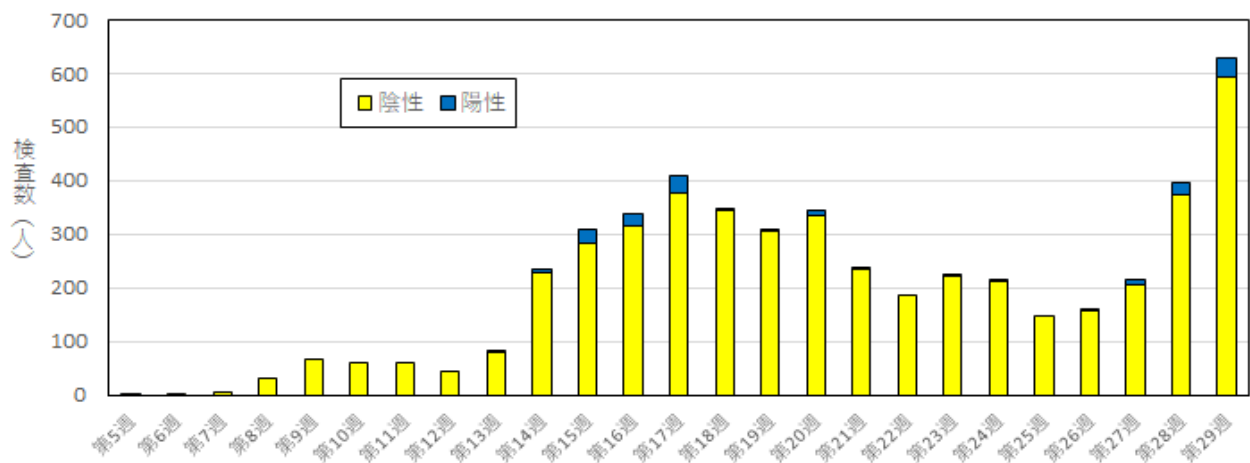
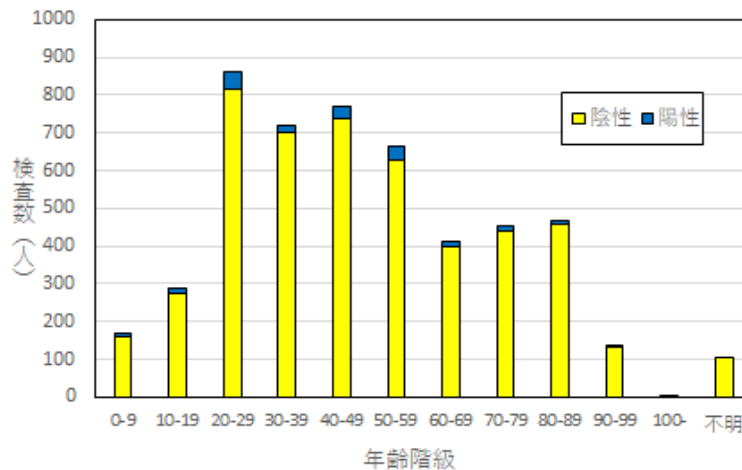


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例

PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市:7月19日現在 n=5045)



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	5	162	167	3.0%
10-19	14	274	288	4.9%
20-29	45	815	860	5.2%
30-39	18	703	721	2.5%
40-49	28	740	768	3.6%
50-59	36	630	666	5.4%
60-69	12	399	411	2.9%
70-79	12	441	453	2.6%
80-89	9	458	467	1.9%
90-99	2	131	133	1.5%
100-	0	6	6	0.0%
不明	0	105	105	0.0%
計	181	4864	5045	3.6%

表2 年齢階級別の検査状況